

核燃サイクル撤退のとき

議員と市民の院内集会

国は「もんじゅ」の廃炉を決定しましたが再処理を続け、新高速炉計画により、核燃サイクル政策を続けるといっています。電力が余っている時代に、核燃サイクルを続ける大義名分は皆無です。国民の疑問にきちんと解答して頂きたいと思います。核燃サイクルの恐ろしさは3つあります。先ず一番目は再処理も「もんじゅ」も巨大地震、津波に襲われたらフクシマの比では無いこと。二番目は、核疑惑をはらむプルトニウムや、高レベル廃棄物の存在、三番目は湯水のように国民の税金を使い（すでに12兆円）、巨大資本・原子力ロビーの利益を最優先させる政策であることです。まずはフランスのアストリッド（高速炉）計画への政府資金協力（3000億円）を止めさせ、日・仏原子力ロビーのもくろみをはばむことが今重要だと思います。フランスの実情調査の報告もぜひお聞き下さい。

2017年 **6**月 **14**日（水） 開場 1:30 **衆議院第一・大会議室**

初上映！

参加資料代 800円

第一部 2:00~3:00 **DVD 上映** 「未来無き原子力産業、しがみつく日仏ロビー」

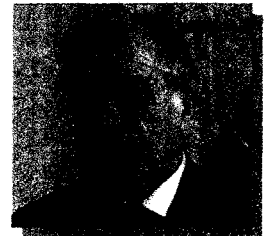
フランス調査団による、フランス原子力の危機的状況を浮き彫りにしたインタビュー

ベルナール・ラポンシュ、モニック・スネ、ノエル・マメール、ジャック・ブートー、ディディエ・アンジェ、コリン・コバヤシ

※詳細は裏面

上映後、宮崎寛（龍谷大学教員）より報告と質疑応答

休憩 3:00~3:10



ノエル・マメールさん

第二部 3:10~5:10 **ヒアリング**

- テーマ
- | | |
|----------------|-------------|
| ①核燃料サイクル政策について | ②新高速炉計画について |
| ③もんじゅ廃炉の諸問題 | ④余剰プルトニウム問題 |
| ⑤再処理の諸問題 | |

5:10~5:30 会場質疑

省庁 資源エネ庁、日本原子力研究開発機構、規制庁 <要請中>

パネラー 国会議員 **菅直人**（民進）、**福島みずほ**（社民）、**吉良よし子**（共産）
川田龍平（）、**逢坂誠二**（民進） 予定 他多数要請中
市民 **伴英幸**（原子力資料情報室）、**中嶋哲演**（反原発福井県民会議）
服部良一（元衆議院議員）、**山田清彦**（核燃阻止1万人訴訟原告団）
宮崎寛（ストップ・ザ・もんじゅ）

主催：脱原発政策実現全国ネットワーク

連絡先：ストップ・ザ・もんじゅ

TEL 072-843-1904 / FAX 072-843-6807

Email stopthemonju@sannet.ne.jp

協力：超党派国会議員連盟「原発ゼロの会」

事務局（衆）阿部知子事務所

TEL 03-3508-7303 FAX 03-3508-3303